

(報告) ユーザー理解活動の取組

2018年2月28日

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

《目次》

- 1. 各種イベントでの取組 P2
- 2. 新聞広告を利用した取組 P4
- 3. 小学生の学校教育と連動した理解活動の取組 P5

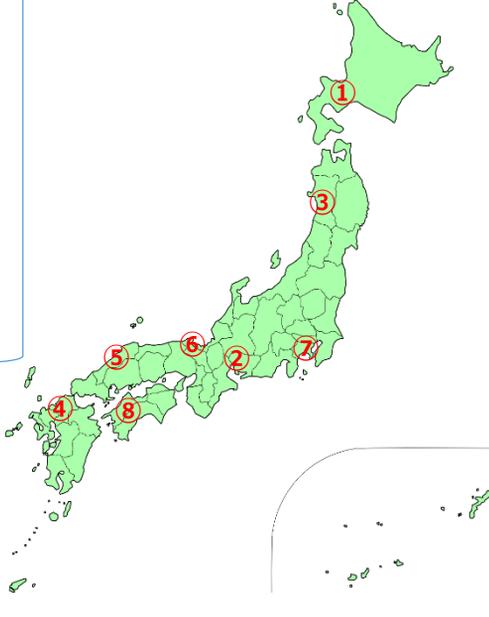
1. 各種イベントでの取組 その1

自動車リサイクルの取組についての露出を高め、ユーザーの認知向上を目指して、全国各地域で開催される各種イベントに出展し、特に来場者が多い小学生とその保護者に対してPR活動を行っている。

(1) 各種イベント出展実績

各種イベントへの出展実績は、下表のとおりである。

<表 出展実績>

	開催地域	名称	開催日	規模	MAP
①	北海道 札幌市	環境広場さっぽろ 2017	8月4日 ～6日	約3万人	<p>9月、12月諮問委員会で報告済</p> 
②	愛知県 名古屋市	環境デーなごや2017 中央行事	9月16日	約15万人	
③	秋田県 秋田市	第17回あきたエコ&リ サイクルフェスティバル	10月7日 ～8日	約3万人	
④	福岡県 北九州市	エコテクノ2017	10月11日 ～13日	約3万人	
⑤	島根県 松江市	2017松江市環境フェ スティバル	11月5日	約1万人	
⑥	京都府 京都市	京都環境フェスティバル 2017	12月9日 ～10日	約3万人	
⑦	東京都 江東区	エコプロ2017	12月7日 ～9日	約16万人	
⑧	愛媛県 松山市	環境モデル都市まつや ま環境フェア2018	2月17日 ～18日	約2万人	

(2) 取組状況

出典：京都府Twitter

- 開催日：12/7～9
- 場所：京都府京都市
- 名称：京都環境フェスティバル2017
- 来場者数：約3万人
- 天気：晴れ

- ⑥
- ・様々なステージイベントが用意され、多くの家族連れが来場された。
 - ・イベントへの出展に際しては、自動車リサイクルの関係者の協力を得て入手した銅・アルミなどの現物を展示した。
 - ・京都府公式の“Twitter”や“Facebook”に掲載され、情報拡散に成功した。



来場者との交流



来場者との交流

1. 環境イベントでの取組 その2

- 開催日：12/7～9
- 場所：東京ビックサイト
- 名称：エコプロ2017
- 来場者数：約16万人
- 天気：晴れ

「エコプロ2017」に出展し、ユーザーが負担しているリサイクル料金の使われ方や循環型社会に向けた関係者の取組や成果を、パネルや動画で紹介した。

また、実際にリサイクル工程で回収された金属などを提示する見学ゾーンやリサイクル工程で生まれた再生プラスチックを使った飾りものを制作する体験ゾーンを設け、楽しい学びの場を用意した。

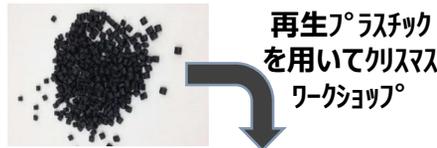


体験学習用の再生プラスチック

当日は、環境学習の一環として、小学生を始めとした幅広い層が来場された。また、多くの外国人も来場された。

いその（株）の協力を得て、クルマ由来を含む再生プラスチックを利用した体験学習の場を設け、クリスマスワークショップを実施した。

予め、メディアとのコミュニケーションを図ったことにより、様々なメディアの取材を受け、自動車リサイクルの情報拡散に成功した。



来場者との交流

⑦



体験学習の様子(マラカス作り)



来場者との交流



(株)共同通信社の取材の様子

(参考) PRブースの概略図



2. 新聞広告を利用した取組

3R推進月間(10月)、東京モーターショー(10~11月)、環境イベント開催など、環境や自動車に関連する情報が増えるタイミングで、自動車リサイクルの取組についての露出を高め、幅広くユーザーの認知向上を目指して、10月から翌年1月にかけて全国的に新聞広告(3回連載)を展開した。

(1) 展開計画

- ・第1弾(掲載日:11月20日)
“①リサイクル実効率99%”をメインにした記事
- ・第2弾(掲載日:12月4日)
“②リサイクル料金の使途”をメインにした記事
- ・第3弾(掲載日:1月15日)
“③使用済自動車の資源的価値”をメインにした記事

12月諮問委員会で報告済

(2) 取組状況

ターゲットとしている地方ユーザー向けに、読売新聞、日本経済新聞、地方紙、合計約2,000万部に以下の記事を掲載し、広報・PR活動を行った。結果、環境イベントなどにおいて、記事を見たユーザーからの意見を得るなどの反響を確認することができた。

<ダミー紙>



<第2弾: PR記事>

<第3弾: PR記事>

3. 小学生の学校教育と連動した理解活動の取組

(1) 企画の概要

2017年9月から11月にかけて3回に亘り、自動車リサイクルの取組についての企画記事を展開した。そして12月には、壁新聞化した連載記事を全国の小学校へ配付し、小学校図書室などで掲示を行っている。

2018年1月から3月にかけて、この壁新聞を閲覧した小学生が自動車リサイクルの関係者による工夫や努力の取組について理解が深められるように、「クルマのリサイクル」作品コンクールを開催し、作品の募集を行っている。

(2) 開催概要

- 主 催 : (公財)自動車リサイクル促進センター
- 後 援 : 朝日小学生新聞
- 応募資格 : 小学生 (日本在住)
- 部 門 : ①標語の部 ②ポスターの部
- 応募方法 : ①標語の部 (郵送・FAX)
 - *17文字(5・7・5)の標語と、作品に込められた思い(100文字以内)を提出
 - ②ポスターの部 (郵送)
 - *八つ切りサイズ(27cm×38cm程度)の画用紙で、画材は自由(貼り絵は不可)
- 応募あて先 : 〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1141-10
日宣ビジネス内「クルマのリサイクル」作品コンクール事務局
- 締め切り : 2月26日(月)必着
- 入賞発表 : 3月25日(日)、朝日小学生新聞紙上で発表。入賞者には事前に連絡
- 表彰式 : 3月26日(月)、自動車会館くるまプラザ
- 審査員 : (公財)自動車リサイクル促進センター、(一社)日本自動車工業会
(一社)自動車再資源化協力機構、豊通リサイクル(株)
朝日小学生新聞編集長
- 賞
 - /最優秀賞……1点 (賞状、副賞: 図書カード)
 - /自動車リサイクル促進センター賞……1点 (賞状、副賞: 図書カード)
 - /朝日小学生新聞賞……1点 (賞状、副賞: 図書カード)
 - /審査員特別賞……3点 (賞状、副賞: 図書カード)
 - /優秀賞……50点 (賞状、副賞: 図書カード)
 - /団体賞……10校 (賞状、副賞: 図書カード)
 - /参加賞……応募者全員にオリジナル文房具をプレゼント

作品コンクールイメージ



<審査基準>

自動車リサイクルについて学んだ内容を基に、“子ども”の視点で、面白いことや、小学生が皆に知ってもらいたい作品を募集する。その上での評価基準は次のとおりとする。

- ①創造力 (子どもらしさ) ……子どもらしく、豊かな発想があるか
- ②表現力 (作品の質) ……構成や表現力など作品としてすぐれているか
- ③伝達力 (正しい理解) ……「自動車リサイクル」について正しく理解し伝えられているか



(参考) 小学生向けの企画記事の展開

(1) 企画の概要

小学5年・6年生の社会科で学ぶ自動車リサイクルは、日本の基幹産業の“自動車産業”の中で紹介されている。情報の受け手の小学生自らが、循環型社会に向けた自動車リサイクルの取組を正しく知り、興味を持ってもらい、日本の産業や環境保全などの現状や将来について考えるための基礎情報の提供が必要である。

(2) 目的・狙い

- “子ども記者”が取材者となり、わかりやすく伝えることにより次の効果を期待する。
- ・小学生とその保護者、小学校の先生の認知向上と理解の促進。
 - ・地域住民、地域自治体、地域メディアなどの読者への情報拡散。
 - ・関係する事業者間でのベストプラクティスの共有。

(3) 実施概要

- ①朝日小学生新聞「子ども記者」による現場取材を実施：9月～11月
- ②全国小学校に向けた壁新聞を配付・掲示を実施：12月
- ③自動車リサイクルについての作品コンクールを実施：1月～3月

<9月から11月にかけて掲示した小学生向けの企画記事>

9/30：解体事業者の取組(第1回)

10/30：破碎事業者、ASR処理事業者の取組(第2回)

11/27：自動車メーカーの取組(第3回)

<http://www.jarc.or.jp/>